

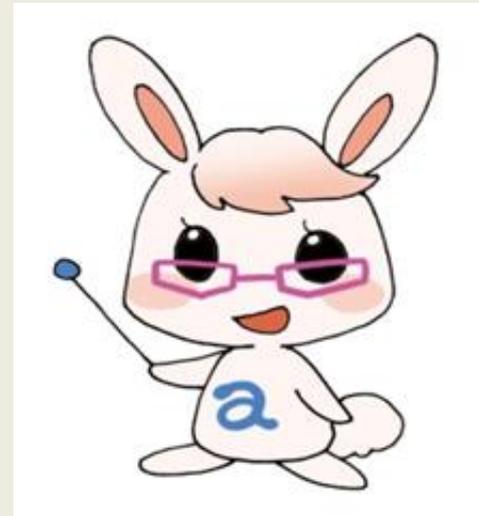
aware アウェアとは

気づく

という意味です。



意識チェック



夫 最近の参加者のDVリスト 妻

身体的V 蹴る

精神的V どなる、ドアをボタンと閉める、相手の欠点をあげつらったり否定的なことを言ったりする、不機嫌になる、相手に自分はだめな人間だと思わせる、うそをつく、その場をとりつくりうことを言う、感情を見せない、無視する

経済的V なし

- DV行動の期間 **3年**
- DV行動の頻度 1週間に数度
- エスカレートして**いない**

身体的V つかんでゆする、蹴る、押さえつける、足をひっかけてころばせる

精神的V どなる、ドアをボタンと閉める、皮肉やいやみを言う、バカにした言葉や汚い言葉を言う、欠点をあげつらったり否定的なことを言ったりする、物を投げたり壊したりする、ふきげんになったりむっつりしたりする、私はだめな人間だと思わせる、うそをつく、その場をとりつくりうことを言う、感情を見せない、無視する、自分の失敗を決して認めないで事実を否定する、自分の態度や行動を私のせいにする、事実をねじ曲げたり矮小化したり否定することで混乱させる、次にどんな行動をするかわからなくさせてびくびくさせる、私が大切にしているものを壊す、プライバシーをもたせない、口論のときすぐ口をはさむ、耳を貸さないし応えない

経済的V 家計の管理を独占する

- DV行動の期間 **10年**
- DV行動の頻度 1週間に5度くらい
- エスカレートして**いる**

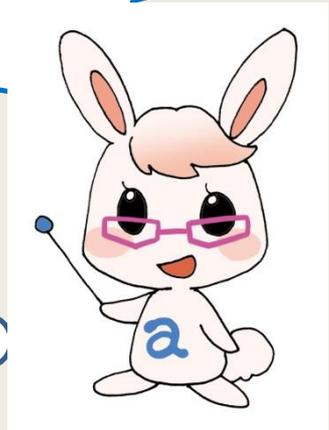
なぜこんなことをするのか？



DVは力と支配

相手を自分の思い通りにする 支配が目的

力は手段



主従

ト

加害者は被害者を責める
被害者は自分を責める
まわりは被害者を責める

DVする人ってどんな人？



実は加害者はフツーツーの人が多い

- 一般的社会人が多い
(仕事をしている人
/社会的地位が高い人も多い)
 - いい人だと思われる
 - 職業、学歴
 - 言葉、宗教、人種、国、など関係ない
- どんな人でも加害者になる可能性がある



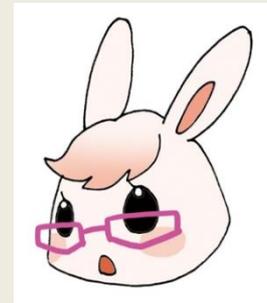
DVは学んだこと

- 親密な関係の人だけを虐待する
- 病気ではない
- 学んで身につけた価値観の問題
(所有意識、特権意識、女性蔑視、
性別役割意識、暴力容認意識など)
- ゆがんだ思考・行動パターンの問題



ゆがんだ考え方の例（加害者の発言から）

- 1) 子どものけんかかではなぐったほうが悪い。でも夫婦のけんかでは殴られたほうが悪い
- 2) 僕は妻を導いてやっている
- 3) 妻をコントロールする責任が私にはある
- 4) 僕は怒りを表してもいいけど、妻が怒ったりするのはがまんならない。常に笑顔でいてほしい
- 5) 僕は女性を尊重している。でも恋人にはパートナーらしさとして2つのことを求める。反論しないこと、服従すること!



このような考え方が問題！

加害者はどこでDVを学ぶのか？

- 女性が差別され男性の下に置かれる（家父長制）の社会的構造
- 国立DV学校で有害な男らしさを学ぶ
- ガラスのゲタを履く→無自覚
- 女性への差別と男女間不平等が、男性の女性に対する暴力の原因
→LGBTQのDVにも





社会にはびこる**女性差別**が
凝縮されて、個人的な親密関係
に**DV**がおこる

加害者は変わらなければならない!

そこで必要なのが、

加害者プログラム



- 「DVはジェンダーに基づく暴力」
であることに基づいたプログラム
- 被害者支援の一環としてのプログラム

アウェア DV加害者プログラム

教育プログラム

- ・治療ではない。カウンセリングでもない
- ・グループで行う教育と訓練
- ・52回以上通うこと（卒業はない）



プログラムの目的

- ・DVは「相手を支配するため」に手段として「自分が選択した行為である」ことに気づいてやめる
- ・そのために価値観を変える
- ・DVした結果に向き合ってその責任をとる
- ・相手を尊重する方法を学び実行する

グループですること・その効果

- ・体験/考え/気持ちなどを語り、聞き合う
- ・お互いに指摘やアドバイスをし合う
- ・教材などで新しい情報や価値観を学ぶ
- ・自らのDV行動や自分自身を客観的に振り返る
- ・相手の立場や痛みなどに「気づく」
- ・短時間では変わらない
- ・続ける人は少しずつ変わっていく
- ・ほんとうの評価ができるのは被害者のみ

DV被害者支援とDV加害者対策

DVのない社会をめざす**車の両輪**

+防止教育=**車の3輪**

どれも必要!

